



町内の各種団体等の代表者は次の方々です

(六月現在)

- 連合町内会 会長 力石 秀喜
- 上組町内会 会長 法代 地功
- 中組町内会 会長 力石 秀喜
- 下組町内会 会長 石井 張司
- 町民会館 館長 力石 秀喜
- 農業振興協議会 会長 為清 敏治
- 水利組合 会長 林 真太雄
- 深小 学校 校長 松島 恵子
- 深小 P T A 会長 長 豊田 昌史
- 如水館 中学校 校長 江口 史憲
- サンライズ 大池 施設 長 河野 芳満
- ピッコロ 施設 長 渡辺 文雄
- 消防団 深町分団 長 小川 和彦
- 尚寿 会 会長 長 原 勇吉
- 女性 会 会長 長 村上 孝子
- はなみずき 会 支部長 松尾 貞美
- 壮青 会 会長 長 西本 薫
- 子ども 会 会長 長 藤井 友博
- 三原市 T B G 協会 会長 谷岡 義昭

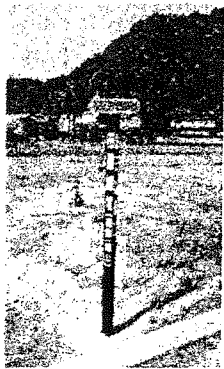
※順不同 敬称略

### 環境会議活動報告

城山登山道に標識を設置

中組 高崎 修

環境会議浮城の会員八人が五月七日(日)、五センチ角の鉄柱に、長さ三〇センチの矢印を取り付けた標識五本を設置しました。設置場所は、城山口バス停と一九七メートルの山頂。途中三ヶ所の曲がり角です。



この標識設置によって、初めての人も迷うことなく登ることが出来ると思います。登山者の増加を期待しています。

### 歩く会にご参加を

歩く会幹事 石井 堂照  
尾道市西藤町



月日 六月六日(火)

予備日 六月九日(金)

行程

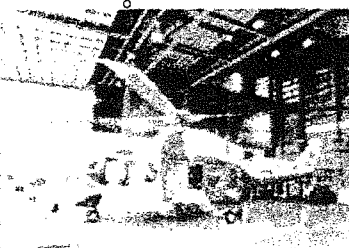
- 八時 三〇分 深上組公民館(車)
- 九時 〇〇分 西藤町探訪
- 十一時 三〇分 探訪終了 昼食
- 十三時 〇〇分 深上組公民館(車)

歩く会に参加して  
広島県防災航空センター見学

上組 紙谷 謹一

歩く会では四月十八日(火)に十四名の参加で広島県防災航空センター(本郷町善入寺。八六一八九三一。以下「センター」という)を見学しました。最初に多目的室で、センター長及び防災航空隊員(以下「隊員」という)からビデオにより、ヘリコプターによる救助活動状況等の説明がありました。隊員六名(ヘリコプターの機長・整備士は除く)は広島県内の消防署からセンターへ派遣されておられ、三年で交代します。昨年の熊本の大地震では、お年寄りの救助活動の状況がNHKのテレビでも放送され、お年寄りの家族から感謝の手紙がセンターに届きました。お年寄りの顔はぼかして放送されたのですが、家族にはその人が誰だかすぐに分かったそうです。ヘリコプターが飛行する場合、電線や鳥などに接触すると重大な事故につながるので細心の注意を要し、訓練飛行も極めて慎重に行われています。救助活動の際、ヘリコプターの騒音に対する苦情が多いのですが、大変危険な中、懸命に救助活動を行っていること、ご理解を頂きたいとのことです。確かにビデオの画像や隊員のお話から、命がけで活動されていることがよくわかりました。

次にヘリコプターの見学をし、ヘリコプターの中へも入って見ました。ヘリコプターはイタリヤ製で機体全長十六・六二m、時速約二五〇kmで飛行します。林野火災・水難事故・山岳遭難・地震・風水害等における活動を行っています。座席は操縦席を含め十六席ありますが、災害時の救助活動では操縦席以外の座席は邪魔になるので撤去されます。ドクターヘリとして重症者を搬送する場合は、重症者の用ベッドと医師用の座席を用意します。最後に、床面積四、四八二㎡の備蓄倉庫を見学しました。ロープ等の防災資機材・乾パン・乳幼児食品等の食料品・毛布・紙おむつ・簡易便所等の生活必需品等が整然と大量に保管されています。その他、防災に関する写真や諸用具等の展示もあり、興味深く見学しました。センター長をはじめ隊員の方から丁寧に分かりやすく親しく説明を頂き、歩く会の皆さんは質問も沢山しました。なお、センター長から「歩く会の見学の様子をセンターのホームページに活用させて頂くか」とも分かります。また、防災やセンターのご理解を頂くためにも多くの方の見学を願っています。」とお話がありました。

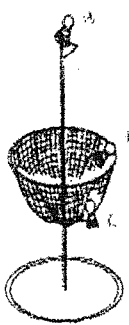


### T B G 協会だより



#### 第六十八回三原市

ターゲット・バードゴルフ大会  
第六十八回三原市 T B G 月例会が四月二十三日(日)深町・城山コースにて行われました。技術向上の為、他地区からの参加を要請しました。



成績は次の通りです。

- 一位 藤田千代子(福山市)
- 二位 金子 勝彦(和田町)
- 三位 井上キヨコ(福山市)
- ベスグロ七十
- 金子 勝彦(和田町)
- ホールインワン
- 船本 雄三(深町・中組)
- 三崎 卓夫(中之町)
- 二人組戦一位
- 志水 孝則(深町・下組)
- 藤田千代子(福山市)

#### 第六十九回三原市

ターゲット・バードゴルフ大会  
第六十九回三原市 T B G 月例会が五月七日(日)深町・城山コースにて行われました。成績は次の通りです。

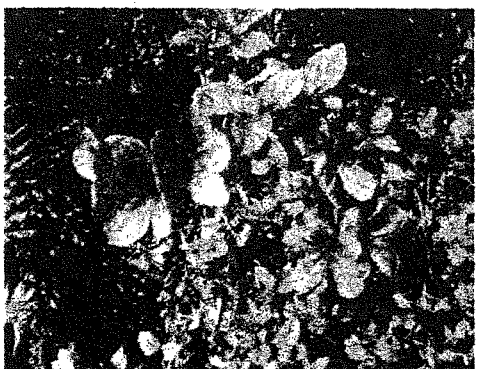
- 一位 林 洋祐(深町・上組)
- 二位 金子 勝彦(和田町)
- 三位 谷岡 義昭(深町・中組)
- ベスグロ六十八
- 金子 勝彦(和田町)
- 二人組戦一位
- 金子 勝彦(和田町)
- 三崎 卓夫(中之町)

次回大会は六月十八日(日)に実施します。  
※選手の敬称略  
T B G 事務局 天木 雅之

### 深町の植物

力石 卓夫(三原市宗郷)

#### 《ヤマツツジ》



名前の由来はよくわかっていないようです。古い時代に既に「ツツジ」と呼ばれています。なお、「次々に咲く」から転訛したという説や、花の形態から「筒咲く」から転訛したという説などがあります。山野で普通に見ることができたからヤマツツジ。  
※五月二十三日撮影

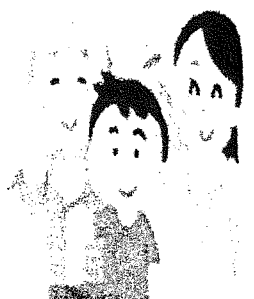
### 高齢者相談センター

どりのいむだより

電話 六一一四四一〇

暖かな春を迎え、新たな気持ちで新年度の生活をスタートさせた人もおられることと思います。皆さまが健やかに、いきいきと生活して頂けるように、様々な情報を発信していきたいと思えます。

#### 認知症サポーターについて



現在、日本全国では認知症の人が推定六〇〇万人生活しているとされています。認知症になった人は、物忘れに対しての不安や、周りとの関わりが減る淋しさなどを感じておられます。認知症になっても自宅で過ごしたいと願い、実際に生活されている方々も三原市には沢山います。

認知症に対しての偏見や誤解、接し方がわからないとの声を聞く事もあります。三原市では認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を暖かく見守る応援者を育成する「認知症サポーター養成講座」を開催しています。特別に何かをやってもらうわけではありません。自分の出来る範囲で活動出来ればいいのです。また講座修了者には認知症の人を支援する目印として、オレンジリングを配布しています。

三原市では、市内に在住・在勤・在学している一〇人以上で構成された団体やグループを対象に講師を派遣して実施しています。講座についての問い合わせは高齢者福祉課や高齢者相談センターにお気軽にご連絡ください。

高齢者相談センターどりのいむでは、高齢者の日常生活上のあらゆる相談に応じています。お気軽にご相談ください。  
(相談は無料です)